あなたの情報

※このページは、患者さん・ご家族・医療や介護に関わる人が情報を共有するためのページです。分かる範囲でご記入ください。内容は、変更していただいて構いません。

あなたのかかりつけ医

医療機関名	
電話番号	
診療科・医師名	

あなたのかかりつけ薬局

薬局名	
電話番号	

現在かかっている病気とこれまでに治療した病気

病気の名前	治療した医療機関

介護認定

要支援	1・2
要介護	1・2・3・4・5

使用している介護サービス

居宅介護支援事業所名 (地域包括支援センター名)	
電話番号	
ケアマネジャー名	

運動の目安

心肺運動負荷試験(　　年　　月　　日)

最高酸素摂取量(peak $\dot{V}O_2$):	mL/kg/分 (　　METs)
嫌気性代謝閾値(AT):	mL/kg/分 (　　METs)
嫌気性代謝閾値の心拍数:	bpm

6分間歩行試験(　　年　　月　　日)

6分間歩行距離:	m　ボルグ指数:

運動内容

種類		時間	強度	頻度
有酸素運動	歩行 自転車エルゴメーター その他	分	ボルグ指数	回/日 回/週
筋力トレーニング		分	ボルグ指数	回/日 回/週
その他の運動		分	ボルグ指数	回/日 回/週

＊上記の内容は、主治医または理学療法士に相談しましょう

地域で安心して療養するために

心不全は、継続的な医療が必要です。心不全の症状は大きく変化して、状態や時期によって必要な医療・ケアが異なります。このため、近隣の医療機関や施設が協力し合って、病状に応じた質の高い医療・ケアを提供します。

急性期



病院機能

救急医療や集中治療、専門的治療を行います。

回復期



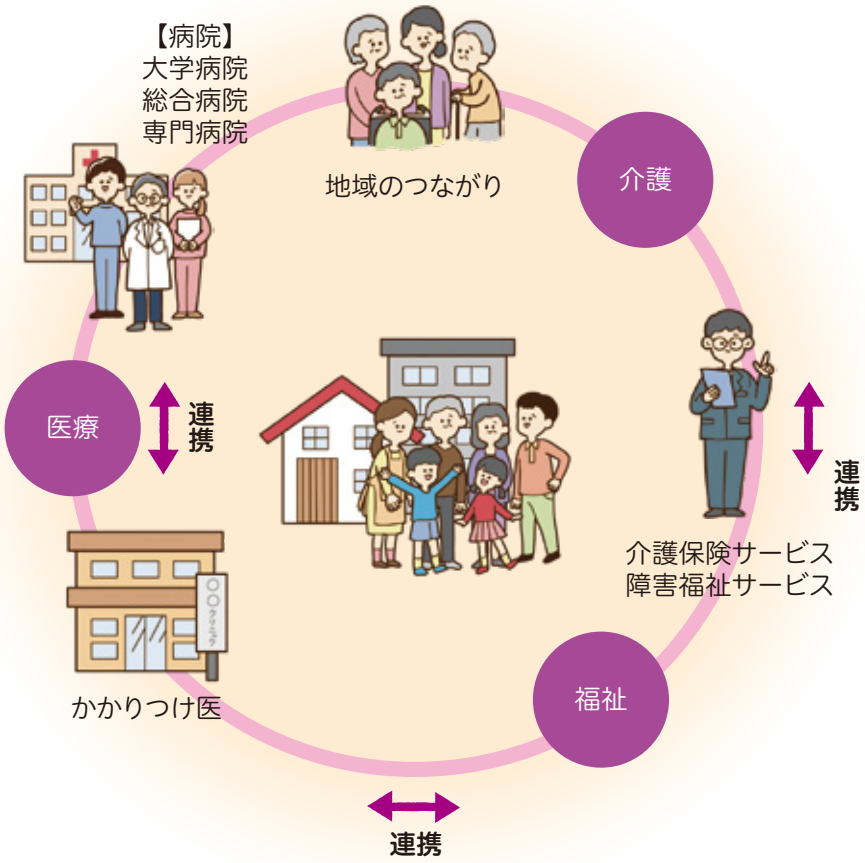
日常生活への復帰に向けた治療やリハビリテーションを行います。

維持期



慢性期の治療、管理、療養などを行います。

医療と介護・福祉の連携のサポートを受けることで、住み慣れた地域で療養を継続することが可能になります。また、地域とのつながりを持つことが、安心した療養生活につながります。



介護保険サービス

介護保険申請

お近くの【地域包括支援センター】や【行政】で申請可能です。

介護保険サービス

要支援1・2、要介護1～5の認定がおりると下記のようなサービスが利用可能になり、心不全が悪くならないように体調管理や生活の支援を受けることも大切になります。

居宅介護サービス

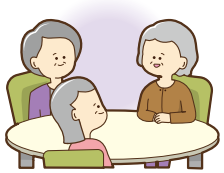
訪問看護



訪問リハビリ



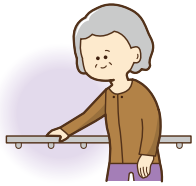
通所介護(デイサービス)



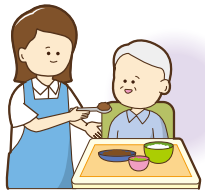
訪問入浴



福祉用具貸与



訪問介護（ヘルパー）



薬剤師の相談



管理栄養士の相談



他にも、施設入所のサービスなども利用可能です。

医療費の不安を減らすために

心不全は長く付き合う病気です。医療費の負担を軽くする制度があります。医療費の不安があると受診を控え、心不全が悪くなり、入院につながることがあります。早めに相談しましょう。

高額療養費制度

1ヵ月の医療費が所得に応じた基準額を超えた場合、それ以上は払い戻しを受けることが可能です。

【対象かもしれない制度】

- ☑ 息切れや疲れやすさで生活に支障がある
  ⇨**身体障害者手帳(心臓)**
- ☑ 難病と診断されている
  ⇨**指定難病医療費助成**

【生活状況に応じた制度】

- ☑ 75歳以上
  ⇨**後期高齢者医療制度**
- ☑ 障害者手帳を持っている
  ⇨**医療費助成(自治体制度)**

※助成内容は地域によって異なります

心不全を患い、療養上のさまざまな困りごとが生じる場合には下記のような相談先があります。

- **病院の医療ソーシャルワーカー**
  社会的、経済的、心理的な困りごとの相談が可能です。
  ※病院により在籍状況は異なります。
- **地域包括支援センター**
  65歳以上の方の総合相談の窓口です。
  ※自治体ごとに名称は異なります。
- **市区町村の福祉や介護に関する部署**

つながりノート

患者さんやご家族、医療スタッフが
気づいたことや伝えたいことを、
〝つながる〟ためのノートです。
自由に書いてみましょう。

年月日	記入者	コメント	確認者

年月日	記入者	コメント	確認者